

作成日：2025年 4月 25日

研究協力のお願

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

産後の母乳育児とメンタルヘルスに対する分娩様式の影響：麻酔分娩と自然分娩の比較	
1. 研究の対象および研究対象期間	2024年4月1日から2025年3月31日に昭和医科大学江東豊洲病院周産期センターで第2子を経膈分娩した患者さん
2. 研究目的・方法	麻酔分娩の一番のメリットは、お産の痛みが軽減されることです。痛みの緩和により、分娩時の体力の消耗が抑えられ疲労が少なくなることが予想され、産後の回復が早まり、母乳育児やメンタルヘルスへも良い影響をもたらすことが期待されます。 本研究では、診療録情報を元に麻酔分娩者と自然分娩者の情報を比較し、産後の母乳育児とメンタルヘルスに違いがあるかを調べます。
3. 研究期間	昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	分娩時：年齢、分娩週数、分娩様式の希望、実際の分娩様式、会陰裂傷、出血量、分娩所要時間 産褥1日目・2日目：授乳方法（ミルク、混合、母乳）の希望、1日の母乳回数 産褥3日目：授乳方法、1日の母乳回数、1回の母乳分泌量（哺乳量もしくは搾乳量）、1日のミルク補足量・回数、ヘモグロビン値、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんへの気持ち質問票 産後1か月健診：授乳方法、1日の母乳回数、1日のミルク補足量・回数、ヘモグロビン値、エジンバラ産後うつ病質問票
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません
6. 研究組織	研究責任者 昭和医科大学江東豊洲病院周産期センター 昭和医科大学大学院保健医療学専攻 講師 新名美佳

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学江東豊洲病院周産期センター 氏名： 新名 美佳

住所：東京都江東区豊洲 5 - 1 - 38 電話番号： 03 - 6204 - 6510